

創造的問題解決法 講座概要

この講座は、ビジネスパーソンが仕事で直面する最も困難で複雑な問題を、自分自身で、あるいはチームを促進して、創造的に解決するためのフレームワークとツールを提供します。このプロセスは、あらゆるビジネス部門の問題解決に新鮮で斬新な解決策を展開するために利用できますが、新製品開発、イノベーション、戦略立案、社内コンサルティングなどのチームにとって特に有用です。

本講座で紹介するスリーダイヤのフレームワークは、「問題発見」「アイデア発見」「ソリューション発見」の3つのステップで構成されています。各ステップには、難題を画期的で実現可能なソリューションに変換するための、発想プロセスを支援する分かりやすい、実用的なツールが用意されています。

講座の対象者

- 創造的な問題解決のための思考スキルを向上させたい方
- チームメンバー、リーダー、マネージャーで、チームが直面する困難で複雑な問題の解決を支援、促進したいと考えている方
- イノベーション、マーケティング、セールス、研究開発、戦略など、新製品/事業開発や企業イノベーションに携わるチームメンバーの方
- 社員の思考力や問題解決力を高めたいと考えている人材育成担当者の方

本講座を受講すべき理由

- 個人の創造的思考力、問題解決力をパワーアップできます。
- 自分自身とチームが、複雑な組織の課題を革新的かつ実現可能なソリューションに変えることができるようになります。
- 問題解決のためのクリエイティブ・チームワークやファシリテーションスキルを身につけることができます。
- 問題発見、アイデア発見、解決策発見のステップにおいて、様々な思考ツールを使用できるようになります。
- 講座修了時には、創造的問題解決法の認定証を取得することができます。

学習内容

- (1) スリーダイヤプロセスの概要
- (2) 創造的問題解決のためのファシリテーション・スキル
- (3) ステップ1: 問題発見
 - 問題発見のガイドライン
 - アップダウン思考ツール
 - 元の問題文から考えられる結果や原因を考え、別の問題定義を見つける。
 - 問題の選択
- (4) ステップ2: アイデア発見
 - 自由なブレインストーミング
 - 幅広いアイデアのカテゴリー
 - ツール1: SCAMPER
 - SCAMPERの変形キーワードを使い、新しいアイデアを刺激する。
 - ツール2: ランダムワード
 - ランダムな名詞を使い、新しいアイデアを刺激する
 - ツール3: TDA
 - 一見無関係に見える分野の関連概念を用いて、アイデアを創出する。
 - アイデア選択
- (5) ステップ3: ソリューション発見
 - 具体的コンセプトの構築
 - 選択したアイデアをより具体的にするために、肉付けを行う。
 - PPMI (プラス、プラス、マイナス、アイデア)
 - 具体的なコンセプトを実現可能な解決策にする。
 - イノベーション・アクションプラン
- (6) 個人の実行計画

学習方法

- 本講座は、組織のニーズに合わせて、対面式、オンラインライブ、ハイブリッド、オンデマンドのビデオ形式で、内容やスケジュールをカスタマイズして提供することができます。
- 講師や同僚からのフィードバックを受けながら、ツールを使って実際に問題を解くグループ演習を幅広く行います。
- グループまたは個人のプロジェクトワークが含まれ、コース内容の適用を示す最終プレゼンテーションが行われます。
- 講座全体を通して、講師が各ツールの例をわかりやすく説明し、チームを促進するためのヒントを十分に提供します。
- 本講座に、以下のような追加ツールや追加モジュールを加え、さらに充実させることができます。
 - 新規事業のためのビジネスプランの作成と発表（グループプロジェクト）
 - グローバルなプロジェクトチームで働くための多文化チームワークスキル
 - 問題発見のステップを顧客インサイトのモジュールに置き換える
- 講座の教授法とツールは、国際的な受講者が使いやすいように適応されたものです。
- 本講座は、英語、日本語、ポルトガル語で実施されます。
- ライブのオンラインコースやハイブリッドコースでは、Miro オンライン・ホワイトボード・プラットフォームを、Zoom（またはその他のクライアント指定のビデオ会議プラットフォーム）と組み合わせて、カスタムテンプレートで使用します。

講師について

ヘンリー・アンダーセンは、明治大学専門職大学院グローバルビジネス研究科のグローバルマネジメント専門の元専任教授です。2019年からは、自身の会社 TDA Associates で、創造的問題解決、多文化チームワーク、顧客インサイト、賢慮の思考スキル、グローバル・ウイズダム・リーダーシップなどのテーマで組織の研修やイノベーションチームのファシリテーションなどを世界的に実施しています。

研修実績として、コカ・コーラ、ユニリーバ、ネスレ、フィリップス、ファイザー、米海軍、マツダ、三菱商事、東芝、キリン、住友などのような多国籍組織のグローバルマネージャーなどを指導してきました。

教鞭を執る前は、ソニー・ピクチャーズ、三菱重工業、スコット・ペーパー（現在はキンバリー・クラークの一部）などの企業で、米国、日本、ブラジル、英国、オランダを拠点に、国際マーケティング、戦略、イノベーションの担当役員として活躍しました。

ハーバード大学で日本文学の学士号、コロンビア大学でジャーナリズムの修士号、フランスの INSEAD でマーケティングの MBA を取得しています。

アンダーセンは、三菱重工に在籍中、同社が直面する技術・営業の課題の両方を解決するために、Transdisciplinary Analogy（TDA＝学祭類比法）と呼ばれる独自の創造的思考法を開発しました。TDA とその応用は、国際的なビジネス誌や学術誌で紹介され、6カ国語以上で出版された創造性とイノベーションに関する数多くの書籍に掲載されています。

詳細については、お問い合わせください。

ヘンリーアンダーセン

TDA アソシエイツ創業者兼社長

メール: henry.andersen@tdaassociates.com

電話: +1-949-353-9947

ウェブサイト: <https://tdaassociates.com>